

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018「明後日新聞社文化事業部」滞在制作団体公募

あざみひら 演劇祭

滞在制作団体公募

制作費補助

30万円
(上限)

応募締切日

2/18 (日)

新潟県十日町市筋平(あざみひら)という集落に流れている時間は、季節折々に変化する自然とそこで生活する人々が創り出しています。その時空間の中にひととき私たちが滞在する……。そこで気づくことがある。それは昨日までの自分との隙間であったり、なんとなく気がつく忘れそうな感情であったり、どこか遠くて近いような距離感であったり、そんなこんなが筋平(あざみひら)で見えてくるだろう。そうなった時に人はそれを誰かに伝えたくなり、そして表現という行為に向かっていく。あざみひらの場所で、あざみひらの人と、あざみひらに訪れたあなたと創っていくのが「あざみひら演劇祭」です。

日比野克彦：審査員／明後日新聞社文化事業部社主

応募方法

応募書類は「大地の芸術祭の里」のHPよりダウンロードし、あざみひら演劇祭事務局へメールで送付して下さい。(申込期限 2018年2月18日 23:59まで)
http://www.echigo-tsumari.jp/news/2018/01/news_20180124_01

<あざみひら演劇祭とは>

あざみひら演劇祭は、新潟県十日町市筋平集落で毎年開催される集落の盆踊りと同時に開催される演劇祭で、演劇や美術を学ぶ若い学生やアーティストで作る夏の恒例行事です。2010年から毎年行われています。今年は夏に開催される「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018」の一環として、公募を実施することで、より多様で魅力的な参加者を募り、筋平集落と併にこの土地ならではの出来事が創出されていくことを目指します。参加団体には、筋平集落に滞在し、集落の方々との交流を通じて制作した成果を上演して頂きます。筋平の美しい里山の風景を借景に、人との出会いや風土を活かした作品上演を期待します。

日程

応募締め切り	：2018年2月18日
書類通過者の面接	：2018年2月26日（会場は都内 / 遠方者はビデオ通話）
参加団体決定	：2018年2月末（当選者には主催者より直接通知）
滞在制作	：2018年5月1日～8月13日（合計7日間以上）
演劇祭準備、交流会等	：2018年8月14日
あざみひら演劇祭	：2018年8月15日（雨天決行）
後片付け	：2018年8月16日

参加特典

- ・「あざみひら演劇祭」への参加
- ・「大地の芸術祭 2018」公式HPやガイドブック等での広報
- ・制作費補助（1団体上限30万円 / 交通費・製作費・運搬費等）
*予算決定は人数を考慮し、企画書および採用決定後の見積を経て決定
- ・筋平集落での宿泊所、稽古場、公演会場の提供

参加資格

- ・「大地の芸術祭」および「あざみひら演劇祭」の趣旨を理解している団体
- ・上記の日程に参加可能で、8月15日の演劇祭で上演が可能な団体
- ・演劇祭の準備・運営などへの協力および、地域のイベントについて積極的に参加できる団体

宿泊所・稽古場・公演会場について

- ・宿泊所・稽古場・公演会場の利用は、各団体間で回数・時間等を調整させていただきます。
 - －宿泊所：想像する家（古民家）
 - －稽古場：明後日新聞社文化事業部（旧筋平小学校）校庭と教室
 - －公演会場：明後日新聞社文化事業部（旧筋平小学校）校庭および休耕田など

問い合わせ・提出先

明後日新聞社文化事業部あざみひら演劇祭事務局 森本祥一 / メール：azamihira.engekisai@gmail.com



想像する家

Photo: Osamu Nakamura



想像する家_内部

Photo: Osamu Nakamura



筋平小学校前

Photo: Takenori Miyamoto+Hiromi Seno



筋平集落の休田